

1 PLAN(目的・概要)

その他経常業務

政策名	安全		責任者	港営部 港湾管理事務所長
施策名	防災・危機管理機能の強化		連絡先	052-398-0503
事務事業名	港湾施設の保安対策のための監視業務等の実施		連携課	危機管理課
目的	対象(誰・何を)	港湾施設	事業期間	平成17年度～継続
	意図(どういう状態にしたいか)	保安対策(SOLAS)を推進します。		
概要	保安対策警備監視業務並びに埠頭保安機械設備点検及び保守・維持等業務を委託し、港湾施設の保安確保のため適宜警備体制の増強及び施設維持修繕を実施することにより、人又は車両が正当な理由なく立ち入ることを防止します。		根拠法令等	国際航海船舶及び国際港湾施設の保安の確保等に関する法律
活動内容	保安・維持業務委託、保安警備日報・月報、修繕結果確認、緊急修繕依頼、制限区域内の施設損傷などによる警備員の立哨・巡回・緊急要請、保安点検立会を行います。		実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
			関連シート	

2 DO(実施)

コスト	単位	27年度	28年度	29年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	208,050	217,289	222,268	215,869	国際港湾船舶係留等の実績により増加しました。
人件費	千円	8,919	8,959	9,190	9,023	
合計	千円	216,969	226,248	231,458	224,892	

3 CHECK(検証)

指標名		27年度	28年度	29年度	中間目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
制限区域における危害事案発生件数 (単年度管理型)	目標	0	0	0	0	0	適切な保安対策を行うことにより、制限区域における危害事案を発生させないこととして目標値を0件に設定しました。	世界情勢の不安定化
	実績	0	0	0				
	事業進捗状況(29年度)		目標値を上回る 目標値をやや下回る		目標値どおり 目標値を下回る			
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	目標						適切な保安対策を行うことにより、制限区域における危機事案を0件にすることができました。	
	実績							
	事業進捗状況(29年度)							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○ 港湾施設の保安対策を推進する上で必須の業務です。						
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○ 当該事務事業は、上位施策である「防災・危機管理機能の強化」に貢献します。						
	期待どおりの成果が得られているか?	○ 保安対策警備監視業務の履行の確認により期待どおりの成果が得られていると判断しました。						
効率性	最小のコストとなっているか?	○ 必要に応じて警備員の立哨、巡回、緊急要請を行っていることや監視カメラ等の使用により効率的な業務を行っていることと判断しました。						

4 ACTION(取組)

課題	30年度以降の取組
効率性を念頭に置きつつ、確実に港湾施設への保安対策を推進することが課題です。	制限区域へ入場する者の3点確認(本人確認、所属確認、目的確認)を確実に行うとともに埠頭保安設備を適切に維持管理していきます。